

# もど子と人婦

號八第 卷貳拾第



行發會ルベールフ

第拾貳卷第八號目次

婦人の地位と子供の地位

吉田熊次

母のため子のため

倉橋惣三

兒童營養法

石塚保吉

綿細工の製作法

藤五代策

金糸雀に育てられた雀

杉井ふき

保育の實際

子供のつくりし謎

和田くら

京坂神聯合保育會提出遊嬉(京都市の部)

兒童の救急手當法

(二)

藤井秀旭

幼稚園參觀記

倉橋生

# 婦人と子ども

## 婦人の地位と子供の地位

文學博士 吉田熊次

婦人の心理を研究せらるゝ人は、斯ういふことを申して居ります。婦人は成人の男子と子供との中間に居るものである。言い換へれば、子供よりは幾分成人の男子に近い精神の働きを有つて居りまするけれども、然し男子の成人に比べると、反つて子供に近い精神の働きを有つて居るといふこととであります。今、一例を申しますならば、成人は過去、現在、將來の諸方面に深き考慮をめぐらすといふ點に於いて、子供に比して遙かに長じ

て居る。これに反して子供は、單に現在のことのみ支配されて居て、過去や將來のことを考へるといふことが出来ない。而して婦人はと云へば、子供のように現在にのみ支配されては居ない。一日の長は確にありますが、然し翻つて、男子に比すると、どうしても眼前のことにのみ支配されると云ふ傾がある。これは單に其の一例に過ぎませんが、兎に角、かういふ譯で、婦人は寧ろ子供に近いものとされて居るのであります。而して兩者の性情に於ける此の關係が、また社會上に於

ける地位に就いても、矢張り同様の關係があるように思はれるのであります。

二

未開人の風俗を書いたものによりますると、子供は絶對に親の所有物であつて、其の生殺與奪の權は一に父の掌中にある。これは古代の作法に徴しても明なる事實で、甚しきは父親が子を殺すといふことが、何の罪ともならぬと云ふような有様であつて、希臘の古代の如きは即ちこれでありませぬ。又、羅馬にあつては、法律上に於てまでも、親權といふことを絶對に認めて居るのであります。これは最も極端なる例でありますけれども、兎に角、子供は一人前の權利を持つものとは考へられて居なかつたのであります。

婦人に對しては、か程に極端でありませんが、稍々これに近い點があるやうに思はれます。婦人の社會上に於ける地位も、勿論、野蠻人と文明

人との間に多くの相違があり。昔と今とは、いろ／＼の變遷も經て居りますが、少くとも古代にありましては、婦人は獨立の人間として認められて居なかつたやうであります。我が國にあつても、昔から、婦人の道は人に従ふにあるとか婦人には三從の道ありとか云はれて居りますが、これは獨り日本ばかりではなく、外國に於ても、略同様に、婦人が法律上、獨立の人格として認められるに至つたのは、極く最近のことでありませぬ。而も其の認められたと云ふ人格も、男子のそれと同様に全く獨立し得た人格ではないのであります。或る國では、男女同權と云ふことを認めては居りませぬ、然し殆んど總ての國は、未だ婦人の選舉權さへも與へて居ないばかりではなく、相續權すらも、男子と女子との間に、大なる相違がある。斯く考へて來ますると、社會上に於ける婦人の地位と云ふものは、子供のそれと甚だ似た處があると

思はれるのであります。

三

更らに之れを他の方面から考察いたしますると少くとも過去に於いては、子供は父母其の他の人の弄み物とされて居たのであります。吾々が子供に接するには、飽くまでも子供を尊重し、子供を思ひ、子供を愛する眞摯なる心持ちを以つてせなければならぬのに、どうも一般にそれが少いように思はれるのであります。勿論、無暗にしかつめらしい、厳格な態度で子供に接しようと云ふのでありません、然し乍ら、子供と共に遊ぶと云ふこと、子供を玩弄物として、自家の弄み物にするといふことは其の間に顯然たる差異のあることを知らなければなりません。子供と共に遊ぶと云ふことは、即ち子供を尊重すを所以であります。これに反して、子供を弄み物にすると云ふことは自家の爲めに子供の全人格を没却して、親の所有

物とする所以に外ならぬのであります。そして、少くともこれ迄の一般社會では、第二の弄み物として取扱つて居たと云ふ傾が多いように思ふのであります。

これは、子供の社會的地位に就いて申した言葉でありますが、婦人に對しても、略これに近い傾があると思ひます、勿論、歐米諸國にありましては、最も眞面目なる態度で、婦人に對すると云ふことはあります、然し乍ら一個の男子が男子に對する時と、女子に對するときは、どうも其の態度や心持ちに、さまざまの差異があるように思はれます。先づ其の著しき點は、婦人に對すれば必ずお世辭や愛嬌を振りまくものとされて居る點であります。何故婦人に接すれば、必ずお世辭や愛嬌を云はなければならぬか、婦人をして子供の場合と同様に、一種の玩弄物視して居るから、そういふ間違が起るのであります。これが一步極端

になると、婦人と云ふ觀念には、嘲弄とか、玩ぶとか云ふことが離すべからざるもの、如く考へるようになつて來るのであります。

#### 四

婦人の地位を斯くまでに至らしめたこと云ふことは、其の精神の働きが子供に似通つて居ると云ふことが、其の原因の一にもなつて居ようと思はれます。斯う考へて來ますと、婦人と子供とを一緒に取扱ふのも當然であると考へられるかも知れぬ。ところが輓近に至り、婦人の自覺に伴つて、其の人格の獨立を主張する聲が漸く盛んになつて來たことは、明なる事實であります。然らば、子供に對しては恠うかと云へば、これも亦、或る程度までは同様の趨勢に趣いて居ると云つていゝのであります。スウェーデンの女流文學者エレン、ケーが『二十世紀は兒童の世紀である』と申しますように、次第に子供の權利を尊重するようにな

り、從つて其の保護と云ふようなことも、次第に盛んになつて來たのであります。

然しながら、子供を尊重せよと云ふことは、子供の子供たる特性を没却せよと云ふ意味ではない。「子供は子供らしくせよ。」と云ふことは、何れの國にも通ずる眞實なる教訓であります。僅に着物の仕立方や、縞柄までが、子供と云ふことの爲めに特別の様式が自然の中に定められて居り、夜寢るのにも朝起きるのにも、成人には其の時間を異にして居ります如く、其の間に種々なる自然的相違がなくてはならぬ、言ひ換へれば、婦人は次第に男子と同様の地位に進んで行くべきであるが子供は、或る意味に於いてどうしても成人と違ふ處がなくてはならぬと云ふのが歐米に於ける一般の趨勢であります。

然るに我が國に於ては、これと全く反對の現象があるように思はれるので、我が國に於ける婦人

の地位と云ふものは、歐米諸國に於ける婦人の地位の如く、次第に高みつゝあるとは、どうしても考へられないのであります。成る程、これを封建時代に比すれば、同日の比ではありますまいが、然し歐米諸國の現在に比すれば、其の遜色の甚しきを思はざるを得ないのであります。雷に婦人に對する男子の態度が、そうであるばかりではなしに、又、婦人自らが男子と同様の權利を得ようと云ふ切實なる要求がないばかりではなしに、反つて、婦人自らが、男子の機嫌を取り、男子の玩弄物となることを喜ぶといふような様子さへも見えるのである。若し婦人が自ら尊嚴を保つ爲めに、身なりを調へると云ふならば其の理はあるが、日本の婦人は、そうではなく、人を喜ばしめんが爲めにするると云ふ風がありはせないかと思はれるのであります。何れにしても、我が國に於ける婦人の位地は、歐米に於けるその如くに、男子に接近

しつゝあるとは云ひ難ひのであります。

## 五

之れを子供の方に就いて考へて見ますると、又特殊の關係が見出さるのであります。と云ふのは、西洋では子供の權利を尊重することは勿論でありますが、然し其の一面に於いて、子供は飽くまでも子供らしくさせると云ふ美點が具つて居る、然るに日本では、子供と成人との間には此の點に於いて、餘り差異がないように思はれるのであります。例へば、歐米では、成人だけのものとなつて居る芝居の如き娛樂機關は、日本にあつては、子供も同等にこれに興ることを妨げない、又、子供は其の子供であると云ふ事の爲めに、又其の子供らしいと云ふことを完からしめんが爲めに、家婢に對してさへも相當なる尊敬を持せると云ふのが歐米一般の習慣であります。然るに日本では殆んどさういふ美點を見出す事が出来ないばかり

ではなく、父母までが、坊ちやま、嬢ちやままで、子供の自尊心を助長せしむると云ふのが普通になつて居る。子供の権利を尊重せよと云ふことは、決して斯ういふ意味ではあるまいと思ひます。

要するに、社會上に於ける婦人の地位と、子供の地位との正當なる定め方に就いては、別な研究を要すること、簡単に申述べると云ふことは出来ないのでありますが、然し社會は、成人も、子供も、男子も、婦人も、それ／＼適當なる職分と、地位とを占めることに依つて、初めて社會生活の完きを得るのでありますから、我が國と歐米諸國とに於ける婦人の地位が並行して居ないと云ふ點は、餘程眞摯なる研究を要することであり、私一個の考へでは、寧ろ我が國の社會的關係は、寧ろ正當であるとは云い難いと考へるのであります。これ等の點に就いて、婦人自らの深き内省と、自覺とを要求し度いと云ふ考へから

氣附いた點を一言した次第であります。

(談文責在記者)

## 夏 の 日

○夏の子供は如何にしてよく遊ばせようかとは誰れも苦心することである。そこを考へて神田東洋幼稚園の岸邊福雄氏は夏の幼稚園といふを實行せられるそうである。同園には去年も一度試みられた由であるし。充分の成功を期す。佐賀縣伊萬里町の私立伊萬里幼稚園でも此の種の御工夫があるといふことを同園主八起マサ子氏から御知らせがあつた。其の他會員諸君の中にもそれ／＼御實行も御意見もあることと思ふ。

○此の雜誌の發刊せらるゝ頃はフレブル會夏期講習會中と思ふ會員諸君の健康を祈る。



# 母の爲め子の爲め

(歐羅巴に於ける母の保護及嬰兒保護)

倉 橋 惣 三

文明の進歩と共に、幼児死亡率は各國共に、甚しく増加して來た。元來、出生後一ケ年間の死亡率が他の年齢に於ける死亡率に比して、比較的大なることは謂は、人生普通の現象で、古來必ずしも異とするに足らぬのである。然しながら、其の過度の増加は、云ふまでもなく國家の人口に影響するところのものであつて、常に一家庭に於ける個人的悲哀事たるのみならず、國家の消長に關する重大なる問題になる。而して其の悲しむべき原因をなすものは、一にして止まらない。社會の發達に伴ふ各人の心身の過勞、殊に生活問題の窮迫

を最大の原因とし、分れて種々なる社會的、或は個人的原因を生ずる、而も生活難によつて蒙る母親の迫害は、其の最も直接なる原因を爲すものである。殊に十九世紀末より婦人の工場勞役は益々其の數を多くし、これに依つて自ら生ずる出産前後の免れ難き不攝生は、幼児死亡率をして見す、劇増せしむるの因をなすものである。母親が出産の前後に於ける適當なる休養攝生の必要は、如何なる貧しき婦人と雖も、これを知るのである。而も其の窮迫せる生活は、將に生んとする愛兒の爲めに、當然の顧慮をなすの餘裕だも有しないのである。即ち、よく生まんよりは、よ

生きん爲めに、其の勞役を一日も廢し得ざるの  
である。また一方には被雇者を以つて、機械の如  
く思ふ冷酷なる工場主の打算是、これ等の憐むべ  
き母をして、よく生ましむる爲めに、暫くの生を  
安んせしむるの慈愛だも有しないのである。茲に  
於いて、これ等の薄倖なる母をして、よく生まし  
め、其の可憐なる幼兒をして壯やかに生育せしむ  
るの問題は、個人的問題に非ずして、社會的攻究  
とならざるを得ないのである。ジョン・スバルゴ  
ーの『兒童の哀泣』と題する書には、一人の若き  
母が出産の殆んど瞬間に至るまで、工場を去るの  
許可を與へられずして、遂に昏倒せるの慘狀を報  
告して居る。我が國に於ては、未だ如斯き不幸な  
窮迫の極度に達せざるを信するけれども、女子  
の工場勞役の増加の傾向は、即ちこの種の悲惨事  
に到らずとも限られざる傾向なりと、憂へざるを  
得ない。即ち茲に於いて、工場法案の制定を見、

また其の一層周到懇切なる法案の改善を希望する  
次第である。

而も、幼兒死亡率の現象の解決は、斯の如き法  
定の力を以つてのみ完ふし得べきものではない、  
普通社會事業として、一層、懇切綿密なる保護の  
方法を、之れ等の母と子との爲めに講しなければ  
ならない。これが即ち貧しき母親に對する保護機  
關の問題である。また一方より云へば、幼兒死亡  
防止の運動である。

最近、ドクトル・スミスの記す處によつて佛蘭  
西獨逸其他に於ける此の種の施設中、懇切を極む  
るもの、三四を紹介しようと思ふ。但し吾人は其  
の方法に就いて學ぶのみならずして（國情の相違  
から其まゝ襲用され難いこともあるし、先づ其の  
周到を生む人道的愛心に敬嘆を禁じ得ないのであ  
る。諺に曰く、『愛あり即ち行き届く』。

佛蘭西は、其の驚くべき人口非増加の事實が、因となつたものか、母の爲め及び幼児死亡防止の運動が最も早く起つた國である。其の第一をなすものは、千八百七十六年マダム、ブケー、ド、ギヤンヌに依つて、創設せられた『母育會』と稱する個人的慈善會である、其の目的は乳兒哺育の母を助けて、食物、牛乳、醫藥、衣服、其他乳兒の爲めに必要なものを給するにある。此の協會には篤志者よりなる一團があつて、絶えず貧民の家庭を訪問して、母と乳兒の爲めに、其の缺乏を慰問して、若し要するものあれば、これを供給するのである。而もこれ等の訪問を受ける家庭は、多くは極貧の家であつて、些少の手當をだに自給するの餘裕ないものであるからして、母育會と聯合協力せる『家庭母の會』の助けを借りる。此の會には産期の婦人及び産後の婦人の爲めの、二個の休養所が設けてある。前者は産期前三四ヶ月の母親

を容れて、彼れ等の攝生に適當なる輕き職業を與へる。此處で産期に達した者は、出産院に入つて分娩して再び第二の休養所に於いて休養する。母育會には、また無料給食所があつて、代價を拂ひ能さる、乳兒哺育中の母親に、無料で食物を給する。此の慈善團は千八百八十年に有益なる公共事業として、政府に認められ、現今に於いては、佛蘭西中に數個の支部を有し、設立以來、其の保護を蒙つた兒童數四萬五千、また其の休養所の恩恵を蒙つた母の數一萬四千の多きに上つて居る。

これと聊か趣きを異にする施設は、千八百九十二年にバリー大學の産科教授ドクトル・ピエール・ビュダンによつて、設立された『育兒相談所』である。これは佛蘭西に於ける母の爲めの第一の學校であつて、其の目的は幼兒を世話するのみならず、正しき法に於いて育兒の實を擧げ得るようになら母を教育するにある。初めはバリーの慈善病院に

於いて始められたのであるが、其の効果は直ちに世の認むる處となつて、パリ以外多くの都市に普及するに至つた。而してパリに於ける労働者の階級の幼児死亡率が、二割五分乃至三割の高率を示して居る時に、慈善病院に於ける此相談所内の死亡率は、殆んど零であつたといふことである。此處に於いては母乳哺育を奨励して、努めて之れを實行せしむるの方針をとつて居る。

此の事業が行はれて居る間に、フェーコンにも偶然同様な施設が起された。即ち同地の醫師ドクトル・デュフルは、其の市に於ける幼児死亡率の大なるを憂いて、『牛乳供給所』を設けた。素より普通の場合に於いては、努めて母乳哺育を奨励するけれども、其の不十分或は不可能なる場合に、適當に調合せられたる牛乳を供給せんとするのである。又、健康兒童に就いても、病兒に就いても喜んで育兒上の相談を受け、乳兒の生長が不満足

なる如き場合には、これに醫學上の手當を與へ、また學理上完全なる育兒法の知識を母達に教ゆる此の設備の起されなかつた前には、同市に於ける幼児死亡率は、二割一分乃至二割三分であつたのが、此の運動が開始されて以來、明かに半減せられたと云ふことである。

パリに於ける『相互母の會』はマダム・カルノによつて創められた。夫人の同情は巴里の貧婦人が妊娠中も尙ほ労働しなければならぬ貧窮の狀態に對して黙視するに堪えなかつたのである。其の初めは裁縫職及びリース職に限られて居たが千九百二年に至つて、巴里に於ける總ての労働女子及労働者の妻を含む様になつた。現在では巴里以外の都市にも及んで千九百八年には第一回の全國總會を開き、會員數は約參萬の多數に達して居る。尤も此の中には此の會を贊助して、寄附金だけをする人もあるが本會員は協同會員と稱して、勞

働女子若くは勞働者の妻に限られて居る。其の人々は一年に三フラン（一フランは我國の凡そ四十錢）づゝを納める。そうすると、産をした時に、家庭の事の他何もしないで、一週間に十二フランづゝ、四週間の間、會から貰ふことが出来るのである。尙ほ六人以上の出産の場合には十五フランづゝに割増しせられ、双子の場合には十八フランづゝを貰ひ得られる。而して此の金の拂ひ渡し法がまた面白い。即ち初めの三週間は、會の贊助員中の誰れかが懇な訪問によつて持つて行つてやる。但し、此の訪問役は、必ず子供のある人で、彼の哺育相談所の醫師によつて教育せられた婦人に限ることになつて居る。金を持つて行くのであるから何處の家でも喜び迎へる。即ち産婦と懇意になる。そこで育児上の注意は勿論家計上の注意まで立入つて存分に教へることが出来る。殊に斯ういふ訪問は一面に於ては、巴里の上流と下流と

の社會的階級間の懸け橋になる効があつて、此の兩者の關係は、番にその時限りでなく、後々長い間の懇意な間柄になることが多いのである。處で、第四週目からは産婦自ら近所の哺育相談所へ行く、巴里全市に行き涉つて五十五ヶ所もあるのであるから、何處に住むものにも大した距離ではない。而して、其處で子供を見て貰つて、四週間の育て方の成績のよいものは十フランの賞與金を與へられる。尙ほ二年間はつとめて屢々子供を連れて來ることを奨めて、其の時々健康を調べて貰ひ、若し必要ならば醫療なり、忠告なり相當に與てられる。斯ういふ風で、次第に母親同志の間に育児の競争さへ起つて、もつと富裕な家庭の子供よりも却つて育児上の成績の良い様なことが常に起るといふことである。

### 三

獨逸は總て學問的に試みる。此の方面の問題に

於いても亦同じである。

カイゼリン・オーグステ・キクトリア・ハウスは、此の方面の唯一の機關であつて、母及び嬰兒に關する一切の問題を調査研究する。殊に健康兒童の出生及び生育の、最上條件を科學的に規定しようといふことを最後の目的として居る。二十世紀の初めに於いて、獨逸に於ける一歳以下の幼兒の死亡率平均は、出生數に對して二割であつた殊に最も惡き事情の地方にあつては、四割七分の高率に上つた、此の驚くべき死亡率は獨逸皇后陛下の危憂せらるゝところとなつて、其の道の者に御下問の結果、千九百〇七年に於いて、此の協會の設立を見るに至つたのである。即ち伯林外廓シヤロットテンブルグに地を卜して、二億弗以上の大建築が、其の本部として建てられた。其基金は獨逸各州及び各人の寄附にかゝつて、尙維持費の寄附を續けられて居るのである、ドクトル・スミス

が此處を訪ふた時は、四十人の母と八十人の嬰兒とが收容されて居たといふことである。此の協會内には第一搾乳場があつて、最も衛生的設備のもとに牛乳が搾らるゝ。其の目的は此の搾乳場に於ける牛乳を以つて、此の協會に使用するとところの牛乳の總を供給せんとするにあつたのであるが、目下は其の需用の大なる爲め、一部分は他より購入して居るといふことである。而して此處には嬰兒の衛生に關する一切の問題の完全なる研究所が備つて居るが故に、此の實際上には好ましからざる二重の供給も、また問題の研究の爲めには都合よき材料ともなつて居る。此の協會の元來の目的は科學的にあるけれども、事實の上に於いては、貧窮なる母親達に對する大なる慈善となつて居る。初めの計畫に於いては、分娩前數ヶ月及び分娩後數ヶ月收容して、其の間十分なる研究を試みるにあつたが、實際上には斯の如きとは困難

であつて、分娩前二週間に於いて、此の協會に來り、分娩後數ヶ月止るを例とした。而して此の數ヶ月間に於いて、育兒及び一般衛生の簡單なる教育を與へられるのである。尙此處には育兒實習の學校が附屬して居て、初生兒の擁護、食物の調製、衣服の製法子供の取扱方及び衛生の一般に就いて教へらるゝ、此處に於いて養成せらる乳母は、其の卒業前數ヶ月の間、一人の子供に就いて一切の世話を實習せなければならぬ。修業年限は共に同じであるが、高等級と普通級との別があつて、高等級は千二百瑪の修學費を納め、獨逸語以外の外國語を少くも一つは話し得なければならぬ。而して卒業後は所謂高級乳母となることが出来る。普通級の方は無料である。彼等はまた、兩級生ともにフレール・ベスタロッヂハウス（ベルリンにある大いなる幼稚園保姆傳習所）の教師によつて、幼兒保育上の正式な教育を受ける。

尙ほ此の協會では、之れ等實際上の施設の他に、種々の問題が討究調査せられる、政府の兒童保護問題、公共團の幼兒保護問題、棄兒問題、出生及天死の統計、結核問題、貧母の保險及保護の問題、牛乳供給問題、牛乳に對する検査及官憲監督の問題、乳母問題、助産婦問題、兒童保護法案の問題等。その他の問題に抄つて居る、又『乳兒保護時報』と題する月刊雜誌や、時々の研究報告が公刊せられて居て、創設以來未だ日の淺いに拘はらず、今や獨逸のみならず、他の國々に迄も、此の種の事業の中心たるの觀を呈しつゝある。

#### 四

ベルヂュームのゲントにあるドクトル、ミールの事業に至つては、その周到なること更に感嘆に堪えないのである。ゲントは十六萬二千の人口を有する都市で、其の多數は織物工場及職工である。結婚した女子も多く工場に雇はれて、それに勞働

時間じかんが長く、賃銀ちんぎんが廉やすいといふのであるから、嬰えい兒じ死亡しほりつ率は自然しぜん多おほくなる、凡おそ十年ねんぜん前ぜん位らゐまではゲントに生うまれた子供こどもは三分ぶんの一いち以上じゆうは、一歳さいにならぬ中うちに死しほといふ有様ありさまであつた。これではならぬと思おもつたのがドクトル・ミールである。調しらべて見ると其その原因げんいんは貧窮ひんきゆうと、無智むちと、社しや會かい的てき壓迫あつぱくとにあるといふとが分わかつた。そこで千九百一十一年ねんドクトルが第一だいいち着ちやくに創はじめめた仕事しごとは貧まつしき母ははと赤坊あかぼうの爲ために無料診察れうしんさつをする事ことであつた。初はじめの間あひだは病氣びやうき、殊ことに甚はなだしい病氣びやうきの子供こどもしか連いれて來こられなかつた。病氣びやうきでもない子こを醫者いしやさんに診みて貰もらふ必要ひつようはないといふ、彼等かれらの考かんがへであつたのである。處ところが次第しだい々々くに親切しんせつなドクトルの眞しんの目的もくてきが皆みなに理り解かいせられて來きた。子供こどもの病氣びやうきを治なをすばかりでなく、平生へいぜいをよく育そだてなければならぬといふ思想しきうが理り解かいせられて來きた。之これは貧まつしい母達ははたちには意い外がいの新思想しんしきうであつたが、それが段々だんぐと彼等かれらの心こころに染こみ込こんで育

兒思想じしきうが發達はつたつするようになつた。ドクトルの主義しぎとして、出で來きるだけ母乳ほにちほ哺育ほいくを奨励しょうれいして、止とむを得えざる場合あひのみ人工じんこう營養えいようの處方じよほうを與あたへた。然しかし困難こんなんなる點てんはゲントに於おいて、新しん鮮せんなる牛乳ぎゅうにうを得うるの困難こんなんと、假令たとへこれを得うるも母達ははたちの貧困ひんこんにして購求かうきゆうに堪たえ得えないことであつた。こゝに於おいて慈善じぜん局きよくの助けを得えて、極貧ごくひん者に對たいして牛乳ぎゅうにうが無料むらうに給たま與あたされた。斯ごとく如ごとくして其その效果かうくわは、急速きよくの發展はつてんをなし、現在げんざいに於おいては年々ねんねく千せん以上じゆうの嬰兒えいじが此この施せ療院れういんに運つれて來こられる。而しかして其その死亡しほりつ率は四割しやうわり以下いか殊ことに一昨年さくねんに於おいては三割さんわりを下くだつた。質素しつそなる建築けんちくの施療所しれうじよは相離あひはなれた二棟にばうから出で來きてゐる。其その一ひとは母親ははおやと赤ん坊あかぼうの診療しんれうをする處ところ、其その一ひとは結核患者けつかくやに對たいする診療しんれう所じよである。第一だいいちの方ほうでは一週しゆうに三日さんび、日ひを定きめて育兒上いくじじゆうの相談さうだんに應おうることになつて居ゐる。午前ごぜんは十時じふじから十一時じふいちじ、午後ごごは四時じふじから八時はちじまで、大勢たいせいの母達ははたちが赤ん坊あかぼうを連いれて來



る。赤ん坊は體量を計られたり、必要の注意を與へられたり、又若し要すれば、藥劑の處方が與へられる。

此處ではまた、一般母達の爲めに、通俗な衛生講話が開かれる。赤ん坊の湯の使はせ方から、衛生的な子供の着物、廉價で滋養に富む兒童營養品の作り方など、幻燈を用ゐて判り易く話されるのである。

此處ではまた、育児の實修科があつて、將來工場に働く母達の子供を預つたり、或は貧民幼兒預所の一員とならうとする人の爲めに、平易なる學理と實地の練習から、廉く上手に子供を育てる方法が教育せらるゝ。

實にドクトル、ミールは、科學の利劍を用ゐて貧困の惡魔と戦ふ人道の勇士である。彼れの十年間の業事は其の全般の困難を打ち勝つて、後年に於いては次第に其の活動を容易ならしめ、其の効

果を益々大ならしめて居る。人あつて、斯の如き大事業は、宜しく著述として世に公にしたらよからうと言へば、彼は子供の爲めに忙しくて其んな閑がないと云ふ。

## 五

ドクトル、ミールは、自ら筆をとつて、其の事業を公表したことはないけれども、斯の如きことの事業は世に傳はらずしては止まない、即ち此の例に倣つて第一の施設は、英國に於けるセント、パングラスの『母學校』である。千九百〇七年倫敦のカルトン街に建てられたのがこれである。元來其の邊りは露店の多い町で、古着、古野菜、惡臭ある肉店等の間を、憔悴した不潔な人々が、失意の顔をして、逍遙ふて居る處である。斯の如き土地に於て、清潔と、整頓とを教ふるは、實物教授に過くものはない、奇麗な室に相談所が開かれ、子供をつれて來る母達の爲めに、育児上の親

切な注意が與へられる、又其の上に廉くてうまい  
滋養食物の調理法が教へられる。また之れが倫敦  
市役所と聯絡して、廉價若しくは無料の食料品供  
給も行はれて居る。

## 六

以上、此の方面の解決法は、要するに二つに別  
れる。(一)物の不足を給養してやることである。  
(二)出産及び哺育上の無智を導き教へてやること  
である。知識の啓發ばかりで如何ともすることが  
出来ぬように、物の施與ばかりでは、其の効果が  
何時も底ぬけの籠になる。何時まで經つても遂に  
完ふせられないのである。貧民救済の業は皆そう  
であるが、わけても貧民嬰兒保護の問題に於て、  
知識啓發の必要が殊更ら多い。天下多數の貧民の  
母がたい簡単な衛生の理を知らず、容易な育児の  
方法を知らない爲めに、見す／＼どの位多數の嬰  
兒を失つて居るであらうか。

物は比較的物だけで興へることが出来る。然し  
教ふるには全然親切な心からでなくては出来ぬ。  
育児相談所の應對にしても、戸毎々の訪問にし  
てもそれが真に行き届き、真に効果あらしめるた  
めには、やさしい心の働きに俟たなければ出来な  
い。

貧民を無料で診察して、無料で物を施したとて  
それで救貧の實を完ふし得られるものではない。  
これが必ず彼れ等の知識啓發と相伴はねば、形が  
あつて心のない慈善となつてしまふ。貧民の母を  
救つて其の子を救ふ第一の法は何か、かうして卿  
の子を正しく育てよ」と、彼等の頭と胸とに教へて  
やるにある。

# 兒童の營養法

醫學士 石塚保吉

初生兒から第一年度の終りまでの子供、即ち哺乳兒の營養法に就いては、前二回に涉つて稍々詳しい説明を申上げて置いた筈ですから、今度は第二年度から小學校時代までの子供に對する一般の營養法を申上げて、これを以つて總論とも云ふべき、健康なる子供の章を終らうと思ひます、便宜上此の兒童期を更らに三期に分つて、(一)第二年度の營養、(二)幼稚園時代の營養、(三)小學校時代の營養として、説明いたします。

## 第二年度の營養

前にも申し上げて置きましたように、誕生前の子供は、外界に對する抵抗力も弱く、消化機能も極めて纖弱なものであります。これが誕生を過ぎ

るとだんく、其の抵抗力や消化機が強くなつて来る。然しもう少し大きい子供や、成人に比べると、遙かに薄弱であり、外界の刺戟に反應するところが頗る鋭敏であります。生齒の如きも、漸く乳齒の時代を離れ、だんくと完成に近づいては來ますけれども、然し未だ全く完備して居るものではないのであります。斯ういふ状態であつて全くの哺乳兒でもなければ、また完成した一人前の兒童でもなく、其の中間にあるものですから、従つて營養法には、いろくの困難が伴つて居ります。今まではお乳ばかりを與へて置けばよかつたのに今は哺乳兒の時代を離れかけて居りますから、お乳ばかりでは可けぬ。重湯、お粥或は、こなれの

よいお菓子其の他のものを多少與へなければなりません、又、この時が即ち離乳の時機でありますから、若し夏期にさへ當つて居なければ、お乳を外して、普通の食物をとるようになる。其の方法は前回に於いて「離乳」と云ふ處で説明した通りでありますから、重ねて申上げません。たゞこの期に於いて最も注意すべきことは、消化機が未だ不完全な時代でありますから、固いもの、酔いもの、繊維のあるもの若しくは澱分及び砂糖分の多量に含んだ物を與へてはならぬと云ふことでもあります。

### 幼稚園時代の營養

幼稚園時代とは第三年目から、第六年目までの子供を云ふのであります、第三年目に到れば、總ての機關が餘程強くなり、病氣に罹ることも少くなつて來ます、然し食物は全然成人と同じように何んでも固いものを與へると云ふ譯にはゆかない

ので、大體に於いて成人と同様に與へていいけれども、成るべく柔いものから固いもの、消化し易いものから消化し難いものに漸進せなければならぬ、分量は可成り多く與へてもよく、又、パン、肉類等も與へて差支ありませんが、多少注意すべきは、豆其の他の不消化の野菜類は成るべく少くし、甘いもの殊に餅菓子や其の他酒類は嚴禁せなければなりません。食事の回数も此の時代から成人並に三度の食卓に、場所を分つと云ふようにしてよいのであります。たゞ無制限に與へると云ふことを慎まなければなりません。

此の時代に往々あつて困るのは、子供は食物の選り嫌ひを盛にすることで、牛乳や其の他の滋養物を厭やがるようなことも尠くありません、此の時代の子供は多少譯の判る時分でありますから、斯ういふ場合には、よく事理をわけて言ひ聞かせて見る。そうして尙吐き出すような時には、それ

以上無理に食べさせる譯にゆきませんから、それと同様の滋養分を有つて居る他の物で補つて置いて、暫く経つてから再び興へると云ふようにする。厭がるのを強ゆるのはよくありません。

### 小學校時代の營養

此の時代は即ち七歳から十四歳までの間であり、第七年目になると、消化機や、其の他の總の抵抗力が、だん／＼成人と同じようになると、以上のりではなく、十二三歳の子供になると成人以上の抵抗力や機能の働きを有つようになつて來まして、一生の中で骨格、筋肉、體量等の發育が一番盛んな時代で、九歳や十歳頃は全體一日に四グラム乃至五グラム位つゝ増して居たものが、十二歳頃になると、一日平均約七乃至八グラム、十三、四歳頃になると、十二グラムも増すようになる。従つて食物の量も非常に増して來まして、此の時代が一番で大食の時代であると云つてよいのであります。

す。此時代の子供に對して、よく此の子は食べ過ぎて困ると云ふ母親の言葉は聞きますが、此の頃の子供が成人に比して、食物を餘けいとるの少しも不思議な事ではないので、成人であれば、現在の體力を維持さへして行けばいいけれども、子供は現在の體力を維持する上に、子供から成人に發育する爲めの精力を要するのであります。従つて成人よりも澤山の食物をとらざるを得ない譯であります。例へば體量一貫目に就いて、成人は五だけの滋養物を要するとすれば、子供は十なくてはならぬ譯であります。それならば、子供は三度の食事によつて、其の要求の總てを満して行くかと云へば、そうはいかないのであります。故に其の不足を間食の形によつて補はなければならぬ。ですから、此の時代の子供の間食と云ふものは、生理上の要求から起るもので、決して贅澤や何かで起るものではないのであります。寧ろ間食をと

れないような子供は、身體に異状のある證據でありまして、そういう子供は必ず身體が瘠せて来る。故に間食を與へないならば、食事の回数を多くすると加して、其の不足を補つてやらなければなりません。斯ういふと無暗に間食を奨励するようにも思へますが、決してそうではないので、間食をやるにしても、其の間に十分の注意を要することは勿論であります。間食の性質、分量、時間と云ふことが大切であつて、朝から晩までも食べ續けにさせて置くと云ふのではない。母たる者は能く此の點に注意をして其の季節々々に従つて、適當なる食物を選び、適當なる分量を適當なる時間と與へると云ふことを忘れてはなりません。例へば夏であると腐り易いものや煮豆等のものを與へてはなりません。冬なれば細菌の恐れがないから菓物、刺身等を與へても差支ないのであります。

此の時代の子供に與へる一日の分量はどれだけ

が適當であるかと云ふことは一寸云ひ得ないことであ、其の子供の腸胃の強弱によつて定まる問題でありますから、これも母親が十分に注意して、其の子供に適はしい分量を定めて置くより外はないのであります。間食の時間にしても、例へば午前からは十時、午後ならば三時と云ふように、其の家庭なり、一般の習慣なりによつて定めて置けばよい譯であります。

斯ういふ次第で、此の時代の子供は大體に於て成人と同等の食物を與へて置けばよいのですが、たゞ常によくはないのは、不消化物や纖維に富んだものを與へることでありませす。食事の時間にしては、哺乳兒のように嚴格に一定して置くこと云ふことは普通の家庭には出來難いことですが、出來るだけは定めて置くようにせなければなりません。

これで兒童一般の營養法を終つた譯であります。次に衛生上の注意に就いて二三申上げて置きます。

と思ひます。

### 口内及び齒に對する注意

總て吾々の口内は常に清潔にして置くことが必要であり、初生兒又は小さい哺乳兒の時代にあつては、餘程注意をして、口内を洗つてやりますと、往々にして口内の粘膜が破れて、其處から微菌が入つて病因となることがありますから、洗ふならば嚴格にやるか、さもなければ強いて綿密な洗ひ方をせない方がよいのであります。幼稚園時代の子供になると、齒の清潔法を餘程嚴格にする必要があつて、朝は勿論のこと、食事の度毎に、成るべく柔い楊子を使つて、齒の表裏をよく磨くと云ふ習慣をつけて置き度いのであります。固い楊子は齒を損する恐れがあるから使つてはなりません。一方に於て、斯ういふ積極的の養生をすると同時に、一方に於いて、成るべく齒を損せないようにすると云ふ養生が大切であります。

す。是れには甘い物や酢いもの、又は熱過ぎるもの、冷た過ぎるものを餘分に與へないようにすることが必要であります。

### 皮膚に對する注意

生れてすぐの子供には、殊更ら皮膚を清潔にして置くことが必要で、その爲めには常に入浴させることを怠つてはなりません。病氣其他の特別の障害のない限りは、毎日續けて一回つゝ入れるようにせなければなりません。温度は攝氏の廿八度位で、凡そ三分間程浴びさすればよいのであります。それから大きくなるに従つて、次第に入浴の數を減じて行く。然し其の制限は必ずしも一定する必要はないので、家々によつて定めて置けばよろしいのであります。

若し其の子供が非常に強壯なる體格であつて、事情が許すならば、三年以後の子供には毎朝冷水磨擦を行つるのがよいことでもあります。けれども、

これは瘡かさせた弱よわましい子供こどもには反かへて害がいがありますから、これに堪たえ得える子供こどもに對たいしてのみ特とくに行おこなひ得える事ことであります。

### 初生兒の臍に對する注意

生うれたけの子供のお臍へそ、これは非常ひじょうに注意ちゅういして大切たいせつに取扱とりあつかはなくてはなりません。普通ふつうには何なんでもない事ことのやうに思おもつて居をりますが、決けつしてそ  
うではない。殊ことに臍へその緒をが落おちてから、未まだ其その傷きずが治なほらぬ中うちは、屈くつ竟きやうなる微はい菌きん培養ばいよう場じやうであつて、其そ處こに生せいじた微はい菌きんが内ない部ぶへ入はいつて、腹はら膜まく炎えん等とうの病びやうを引ひき起おこし、遂ついに命いのちを失うしなふようになつて、産うまはありませんから、非常ひじょうに注意ちゅういをして、産ま婆ばが歸かへつた後のちも嚴げん密みつに消しょう毒どくした布ぬので包おんで置おかなければなら  
りません。

### 着物に對する注意

初生兒しよせいじ及び哺乳兒ほにうじの着物きものは常つねによく乾かん燥そうさせて置おくことは勿もちろん論ろんでありますが、尙なほ着はせるときは

少すこしく温あためてやることが大たい切せつであります。それから子供こどもの着物きものは、先まづ着脱ちやくだつに容よう易いであるように、ゆるく仕立したて置おく方が便べん利りであります。餘あまり窮屈きうくつであると、着脱ちやくだつの時ときに子供こどもの腕うでに無む理りが出來できたりまご／＼しますから寒さむい時ときなどは、その爲ために風かぜを引ひくと云いふような事ことがよくあります。

その他た、子供こどもが小ちひさければ小ちひさいだけ、一層いちじやう着物きものを清せい潔けつにして置おくことを忘わすれてはなりません。殊ことに御お襦じゆ袢たん褌ふんどしは餘程よほど注意ちゅういをさせないと子供こどもの股たが赤あかくたゞれて、遂ついには全ぜん身しんに及およぶすようなことも往々わうわうある。これは一いっに母親ははの不ふ注ちゅう意いから起おこるものであります。

子供こどもに厚あつ着ぢさせる方がよいか、薄うす着ぢがよいかと云いふ點てんに就ついては、いろ／＼な意見いけんもあります。し、一般はんの習しゆ慣くわんとしては、どうしても厚あつ着ぢをさせたい傾向かうかうがあります。然しかしこれは間違まちがつた事ことであらうと思おもひます。子供こどもだからと云いつて、生うまれて來く



からには、自然の風物に堪え得るだけの働きを持つて出て来るものでありますから、早生兒や病生兒ならば兎も角も、人が一重を着て居るのに、綿入れを着せて置くなどは寧ろ子供の自然に反した取扱ひであります。勿論成人よりは、幾分暖くさせて置く必要はあるが、それ以上に厚着をさせるのはよくない事であります。私の経験中に其の極端なる一例があります。それは東京に於ける或る一流の家庭で、非常に子供を大切にされる方でしたが、或る冬の夜中に、子供が急病だと云ふので呼び起されて行つて見ますると、寒いからと云つて子供の體よりも大きな湯たんぼを、三方に置いて、極度に温めて寝かせて置いた爲めに、夜中になつて急に呼吸困難を起して、非常なる苦みを呈して居ると云ふ有様でありました。それを冷したり等の手当をして、漸く事なきを得ましたがもう少し手當が遅れると、其の爲めに命も危いと

云ふような状態に陥つて居たのであります。たゞ、温めてある床へ入れて置けばいいのに、無暗に澤山の湯たんぼを入れて置いたものですから、斯ういふ間違が生じたのであります。と云つて、反對に餘り薄着をさせ過ぎるのもよくないので、一部の人々の云はるゝスバルタ的の育て方は、普通の子供には適せないことで、常に中庸を得て居ることが必要であります。

#### 居室に對する注意

子供の居室は、成るべく他の室に比して廣く、よく乾燥して空氣の流通が十分であることが必要であります。若し南向の室を選ぶことが出来れば其れに越した事はありません。寒い時節だと攝氏十五度の温度を保つようにし、暑い時分だと、風通しをよくして温度の調節を計る。夜の明りは電氣なれば最もよく、さもないければ釣ランフを使ふようにし度いと思ひます。

### 寢室に對する注意

子供の寢室は、矢張り南向若しくは東南、南向がよく、温度は冬なれば少し温めて置けばいいのであります。三歳位の子供なれば攝氏の十三度から十五度位、三歳以上の子供なれば、もう少し温度を下げて置くようにすればよろしいのであります。

### 骨格及筋肉に對する注意

前にも申した通り、發育時代の子供の着物は成るべくゆるやかにして、手足の運動を自由にして置かなければなりません。尙これはよくある事ですが、子供を早く歩かせようとか、立たせようとか、座らせようとかして、無理に子供の運動を強ゆるような事をして興じて居る親達がある。未だ筋肉の十分に發育せない子供にかういふ事をさするのは、非常によくない事なのであります。

先づ生後六ヶ月位までは、平靜に寝かせて置く。

六ヶ月が過ぎると、だん／＼と體がきまつて來ますから、それからは長く座らせて置くこととはよくない。又、子供がそろ／＼立ち上るやうになつて來ました時でも、無理にそれを助長せしめると云ふことは慎まなければなりません。たゞ子供が倒れないように注意して支へてやるに止め、其は子供の自由に任せて置くべきであります。

學校に於いて特に注意すべきは、腰掛に凭り掛る爲めに、子供の脊髓が壓せられないようにすることであり、其の爲めに往々にして子供の脊髓が曲るような事がある。

### 五官に對する注意

總て幼少な子供は、餘り五官を刺戟せしめないやうにせなければなりません。殊に初生兒や哺乳兒は、餘り明るくない、靜かな處に寝かせ、光線や音響の刺戟を遮つて置くことが大切であります。

目の練習の如きも、物を覺へさせようとする爲めに、いろいろの物を子供の眼前に持つて來て、覺へさせようとする事も慎まなければなりません。たゞ子供が散歩等に行く時に、自ら見て覺えたと云ふように、子供の自發的練習に任せて置くべきで

## 綿細工の製作法

綿細工も彼の麥稈細工と同様に、幼稚園室内を裝飾するために保姆の方々の製作するの手工であります、左に之に要する材料と用具とに付いて概略を述べます。

### 甲、材料

(イ) 細工綿。普通の小袖綿を一夜寝押をかくれば使へますが、大坂には細工綿として特別にこしら

あります。尙、學校に於いて特に注意すべきは、子供が近眼にならないようにすることであり、かういふ點に就いては、前に十分なる研究が施されて居ること、思ひますから、茲では更めて申上げない考へであります。(第一章總論終)

東京女子高等師範學校訓導

藤

五代策

へたものかあります、使用の目的によりて廣く切ることもあり又長く切ることもあります、常に兩方の手にて引き分けて切れ目の角立たぬのが宜敷いのであります。

(ロ) 骨格となる針金。二十番の亞鉛引針金に、薄美濃紙を細長く切りて堅く巻き付けます、さすれば針金が自由に曲りて鏝の生ずることがありま

せん。

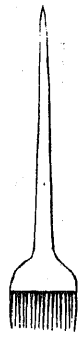
(ハ)フノリ。フノリ一枚(五六寸角)に約水一升を入れて、よく煮解き布にて濾過します。綿にて作り上げたる後此のフノリを刷毛にて貼り纏むるのであります。

(二)泥繪具。フノリにて纏めよく乾きたらば、該物の具有せる色を着くるのであります。泥繪具の代りに普通の水繪具を用ひても差支はありません。

(ホ)其他膠、古端書等を要することもあります。

乙、用具

(イ)細工刷毛。幅七分柄の長七八寸の小刷毛の柄の上部が錐の如く尖らせたるもので、



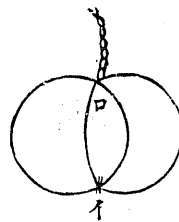
錐状の部にては種々の細工を施すのであります。

(ロ)喰切と鋏。喰切は針金を切り鋏は紙などを切るに用ひます。

丙、製作法

此の綿細工で製作せらるゝものは、果實、野菜類、鳥類、獸類などが最適切であつて、彼の花類や魚類、昆蟲類などには餘り相應しません。次に簡易なものより二三種類製作法を説明しませう。

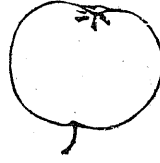
一、林檎の作り方



針金にて上圖の如き骨格を作り、柄の部は拗ち合せ、(イ)と(ロ)の處は糸にて結びつけます。次に半紙にて林檎を包

まる、丈け位の廣さに切りてよく揉み、骨格の上より糊にて貼付けます。是より綿を、の如き形に切りて、林檎の胴の凹める間に貼りて圓き形に仕上げます。最後に林檎を包被するだけ綿二枚を作り、林檎の下部よりすけ柄の方に包み柄にも少し綿を巻けば大體の形が出来上

します。

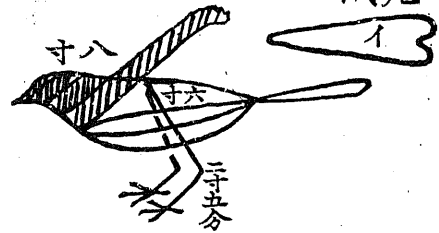


ります、是より刷毛にてフノリを一様に引き表  
面にスガメの無き様に注意します、先端の臍の  
處は刷毛の柄の尖れる處にて綿を少し突き出せ  
ば臍の如くなり、斯くしてよ  
く日に乾かしたらば、初めに淡黄  
色の繪具にて一面を塗り、次に赤  
色にて林檎の實物の色の如く彩色

(注意)柄は四五寸位長く残して、細工を施せ  
ば頗る便利であります、又日に乾かす際には柄  
を他物に刺しおくのです、愈々林檎の出来上り  
たる後に柄は適當の處から切り去ります。  
林檎の製作法が判りますれば、其他の果物類や  
慈姑、胡瓜、茸等をも自由に作る事が出来ま  
す。

二、カナリヤの作り方  
長八寸の針金にて頭、脊、腹の部を作り、六寸のも

紙尾



て(イ)の如き尾紙を作りて貼り付ければ、カナ  
リヤの大體の骨格が出来上ります。  
是より脚の股の部に少しく綿を巻き、頭の部に  
綿丸を挿み、細長く切りたる綿にて、圖の如く  
嘴の先より頭、胸、胴と順次に綱帯を掛くる  
様に巻き付けます、次に咽下より八分角位の薄  
綿を當てフノリにて撫でつけ、更に頭部よりも

のにて腹の側部及尾を作  
り、二寸五分の針金にて  
二本の脚を作ります、脚  
の趾は稍細き針金にて前  
趾三本後趾一本として纏  
めます、凡て動物は骨格  
に一定の割合があります  
から、次の割合を失はぬ  
様に作る事が肝要で  
あります、次に古端書に

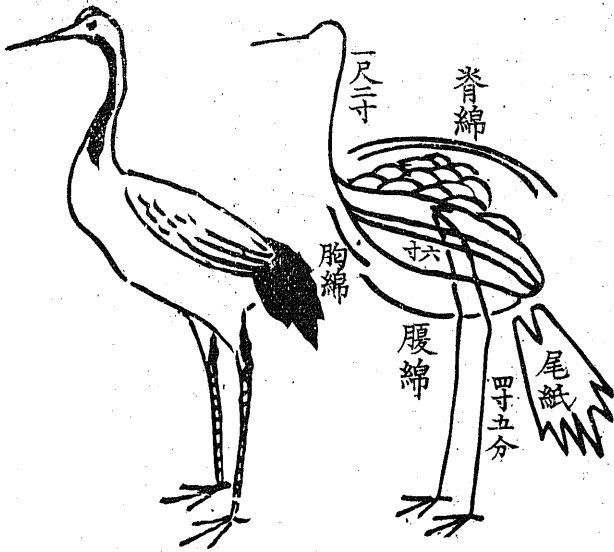
一寸角位の薄綿を當て 糊付を施します、腹部には長方形の薄綿の脚の部を少し裂きて被ひ十分にフノリを布き、次に脊にも二三枚の綿を置き其上より稍卵形の廣き綿二枚を被ひてフノリにてよく撫で付ければ、全くカナリが完成します。

嘴及び趾の如き角質部には、押糊を塗り付け更に假漆を塗れば光を發します、次に頭と脊の

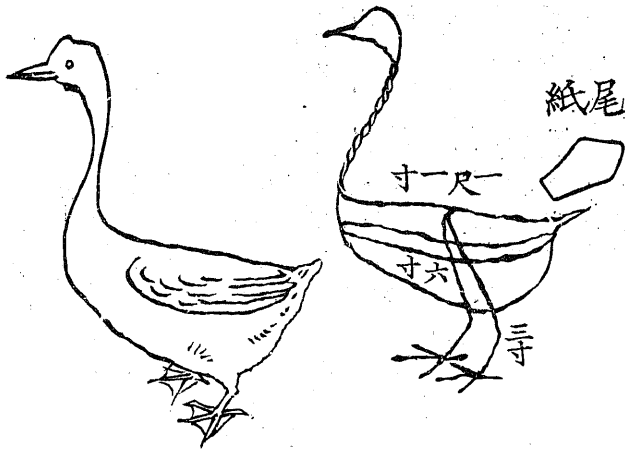


部を淡黄色に塗り、其乾けるを待ちて、濃く解ける胡粉にて

兩方の翼を描きます、眼は極めて濃き胡粉をダツブリ載せおけば、乾くに從ひて半球狀に固まりますから、其上に黒點を描きて眼の丸を入れます、尙嘴や趾は假漆を塗る前に淡赤色に塗



るのであります。



カナリヤを作ることにつに習熟せば、其の他の鳥類てうるゐは何でも作ることが出来できます、左に鶴と鶯鳥との製作順序圖を掲かげておきますから、作つてご覧らんなさい。

鶴の脊はタツブリふうむ様に十五枚の小綿をかき、その上より卵形の脊綿二枚を被せ、翼は墨で描き、尾羽は全く黒く塗ります、尙各部分の彩色は、よく實物を觀察して施すべきものであります。

鶯鳥の蹠は薄綿を張りて淡赤色に染むるので、此の綿細工は前に述べた如く、骨格の研究、外形上の形態及び彩色に至るまで綿密なる觀察によつて製作すべきものでありますから、是亦教育上多大の價値を有するものであります。

# 金糸雀に育てられたる雀の歌と呼び聲

杉井 ぶき

(一)教育の力——(二)模倣と遺傳——(三)鳥の歌——(四)模倣の實例——(五)葦切の研究——(六)種々の小鳥——(七)食米鳥と赤羽鶉と蠅嘴と——(八)歌と呼び聲、遺傳と模倣——(九)孵化前に於ける親鳥の聲の影響——(十)雀の呼聲の研究——(十一)度々の失敗——(十二)蹇脚雀の一年間の研究——(十三)好機を逸す——(十四)飼育苦心談——(十五)野生の雀の一年二ヶ月の觀察——(十六)將來の研究、

## 一、教育の力

教育の力が偉大なものであると云ふ事は、今更事新しく申述べる迄もありません。子供を各方面から研究して、而して種々の事實や法則が追々に明かに成つて來ると共に、教育の原理や方法と云ふやうなものも、やはり多方面の研究が積み重つて、それが實際の設備と相俟つて、着々と結果の上に現れて來て居るのでありますから、子供を教育する上で、教育の力を今更兎角申す人は一人もありません。

近來動物心理などの方から、やはり教育の力と云ふ問題に觸れて來る實驗上の研究が、ちよいちよい發表される様に成つたやうに思はれます。例へば動物の本能を人為的に變化しやうとする實驗の如きであります。中でも、かう云ふ極所まで行かないにしても、此の方向にある運動と接近したもので、鳥の歌や呼び聲に就いて、色々な興味のある事柄が研究せられて居るやうでありますから、今其の一部分を御紹介して見やうと思ひます。

先づ第一に體が小さいので可愛らしく、それに



各部の釣合が引締つて小氣味のよいほど統一のある形と、美しい又滋味のある色をして、そして運動が彈力的で輕快で敏捷で、且つ音色の美しいリズムの整つた、旋律の變化は少なくとも高い調子の歌を歌つてくれる一何となく子供の樂園を（動的の方面を代表して）飾る使命を持つて居るやうに思はれる小鳥の生活を、成る可く細かに叙述しながら、米國クラーク大學のコンラヂ氏の研究を報告して、右に述べたやうな問題を暗示して見たいと思ひます。

コンラヂ氏の根氣のよい細かな研究を述べる前に、先づ鳥の歌や呼び聲に就いての從來の研究の結果の大體、即ち模倣や遺傳や研究方法等に關する諸家の意見を摘記しやうと思ひます。

## 二、模倣と遺傳

鳴禽類が練習次第で他の鳥の歌を歌ふと云ふことは人の知る處であります。どうして歌ふかと云

ひますと大抵は模倣によるのであります。或る學者は澤山の實驗を土台として、元來鳥と云ふものは其の種類に獨特の歌を持たないものであると斷言して居ります。他の學者は模倣を以て鳥の歌を左右する唯一の勢力とはしませんけれども、兎に角模倣が重大の要素であることは認めて居ります。又他の學者は鳥が歌を歌ひたがつたりする事や、鳥に歌を歌ふ力のあるといふ事は、つまり鳥々によつて定まつて居る歌の型が祖先から遺傳するからで、甲の鳥の歌ふ歌は其の甲といふ種類にのみ永續するものであると云つて居ります。又同氏によれば鶏・雉子・七面鳥・鷓鴣・家鴨・鶯鳥・筑紫鴨類などの呼聲は遺傳するもので、自然に育つた鳥でも、又人手に育てられた鳥にしても、時が來れば、此の呼聲を自由に使ひ出し、家鳩・郭公・鳥類・鷹類などの呼聲は遺傳もするでせうけれども、又模倣によつても習得するものであります。

三、鳥の奇

鳥の歌を研究した氏の言によれば、一體鳥の呼聲や危険を傳へる叫は、鳥の歌の中で大切な役を勤めて居るといふことであります。鳥の呼聲は歌の中に度々繰り返されるもので、玉を轉すやうな聲で節面白く歌ふ鳥もたつた一つの啼聲を繰り返し繰り返し使つて歌ふものであります。金翅雀・家雀・紅雀などは、全く呼聲と危険を告げる叫と許りで歌を組立て、居ます。發達の上から云へば、鳥の歌は初めは單に呼聲や挑みの叫びを反復するに過ぎなかつたのが、後に次第に發達して新しい調子を生ずる様になつたのであります。ダーウキン氏は鳥の歌を以て雄鳥が雌鳥に對して歌ふ呪唱に過ぎないとして居ます。しかしこの考は繁殖期の鳥には適用が出来ますけれども、未だ發育し切らぬ雲雀・駒鳥・鶉の類の歌をも同様に異性の愛から起るものとして仕舞ふは聊か早計の誹を免れない

と思ひます。

四、模倣の實例

これから鳥の歌に模倣の盛に行はれて居る實例の一端を御話致して見ませう。元來野生の鳥は常に鳥同士の歌を真似る許りでなく、虫や四足獸の啼聲をも真似ます。又時には梢を拂ふ松風や、汀を洗ふ水の潺湲の響をも真似ます。其の模倣の巧なことは、例へば梟の聲が木の虚を吹く風の音に髣髴し、鵲が飛ぶ時自分の翅から出る音の様な聲を出す類であります。又鴨・塘鵝・紅鶴・蒼鷺の聲は蛙や蟄の聲に似て居り、鶺鴒は巧に水の滴る音を真似ます。鶺鴒に限らず、食餌にする昆虫の多い故か、啼鳥が水に近く流の音も聞える許りの處に好んで居を構へるは能く人の目撃する處であります。駒鳥・鶺鴒・雛雀・鶉・四十雀が他の鳥を真似ずに軟かな高低の音程を歌ふのは、溪川の岩に堰れる音から學んだものであります。褐色

鶯の呼聲が蟋蟀の聲に似て居ると云ふのは、此の鳥は普通蟋蟀の居る籬の近くに居て、夜となく晝となく常に蟋蟀の聲を耳にして居るからであります。匾蛋野鶉の聲は野生の青蟋蟀の確とした連續的の歌にそっくりであります。鶉鳥の聲は砂漠に嘯く獅子の咆哮を思はせ、赤頭の木啄鳥の尖つた聲は同じ樹上に啼く木蛙かと疑はせます。殊に木啄鳥と蛙とは類似が餘りに甚だしいので耳だけでは其の孰れかを聞き分けることが出来ません。栗鼠と蛇とは驚いた時には、體が小枝や枯草に觸れた時に發する音の様な叫聲を出します。此の外猶實例は數ふるに遠ない程ありますけれども、餘り長くなりなますから省略します。

## 五、葦切の研究

或る學者の飼育てたビルテイモア産の二羽の葦切は何等の訓練もせず放棄て置いたにも拘らず、矢張葦切特有の歌を歌ひ出しました。此の葦

切は籬の時から全く他の鳥類と分離して飼育たものであります。三年後氏は更に生後六日許りの三羽の葦切の雛を、先の二羽と一緒に飼つて研究した結果、次の様なことを言つて居ます。同種類である葦切と離したのは勿論のこと、其の他のあらゆる鳥類から離隔して育てた右の二羽は、他から何等の影響を受けないで、然も先天的に歌ふといふ性質があります。即ち啓かれずして新しい歌ひ方を初めたのであります。又此の二羽の鳥と許り一緒に置いた後の三羽は、二羽の始めた新しい歌を覚えて、自分達が習つた通りに歌ひました。けれども是等の鳥の呼聲は同種の野生のものとして變らなかつたといふことであります。

## 六、種々の小鳥

六七年間氏は生後間もない色々の鳥の雛を捕へて来て、自活の出来る迄育てた後、大きな部屋に放し飼にして之を観察しました。勿論屋外との通

路は開放されてあるので野生の鳥の聲は自由にこ  
ゝ迄達するのであります。此の實驗に供した鳥は  
米國産駒鳥十二、駒鳥十四、鶉六、米國産鶉七、  
スラッシャー二、黄胸チャット二、紅胸蠟嘴二、  
カーザナル一、バルチモア産葦切六、オーチャー  
ド葦切七、食米鳥一、米國産棕鳥二、鳥鶉四、  
赤羽鶉五、椋鳥一、ブルトジエー六の多數であり  
ましたが其内で其の鳥特有の歌を正しく歌つたも  
のは一羽もありませんでした。或は他の鳥の歌を  
眞似たり、又は眞似損ねて何の鳥の歌ともつかぬ  
ものを歌ふのもありました。

#### 七、食米鳥と赤羽鶉と蠟嘴と

氏は或る年食米鳥を一腹と赤羽鶉を二腹と飼育  
しました、食米鳥は生後四日位のもので、鶉の方は  
生後一週間を経たものであります。其の内雄は二  
羽宛即ち四羽ありました。この四羽の歌は如何な  
人に聞かせてもそれを食米鳥や鶉の歌と云ふもの

はありません。殊に著しいのは食米鳥で、其の聲  
は呼聲さへ野生のものとは似もつかぬものであり  
ました。けれども鶉の方は呼聲だけは自分の種類  
の聲音を失ひませんでした。氏は又同年蠟嘴の雄  
二羽を生後四日から育てました。この鳥の歌は赤  
胸蠟嘴に特有な静な哀つばいものでありましたが  
歌ひ方は野生のものと同く異つてゐました。

#### 八 歌と呼び聲—遺傳と模倣

概して鳥の呼聲は生物學上歌に比べますと遙に  
古い歴史を持つて居るもので、遺傳に支配される  
ことも亦多い様であります。他の學者は種類は異  
つて、雛の時から一つ巢に一つ親で育つた鳥同士  
の呼聲や歌の方が、同種族でも異つた境遇の元に  
成熟した鳥と比べて遙に似て居ると云ふことを證  
して居ります。色々の鳥の初めの啼聲は其の危険  
を告げる叫や呼び聲に現れるもので後になつて發  
達する啼聲や歌ひ方は元來其の種族の特質を最も

よく現すものでありますから、これは歌の初めの部分に現れます。又呼聲の模倣に就いては實驗を今一層擴張しない限り、どう云ふもの即ち何と何とが雛の呼聲を影響するかと云ふ模倣の範圍を決めることは出来ません。

### 九 孵化前に於ける親鳥の聲の影響

この實驗で避けねばならぬことは雛と親との接近であります。即ち孵化しない前さへ親鳥の聲が雛に影響を與へはせぬかと危ぶまれるのであります。然し或る學者は之を以て杞憂に過ぎないとし生れて二三日位の雛が親鳥の歌を正しく聴き得るとはどうしても信ずることが出来ないといつてゐます。けれども親鳥の歌が孵化前に既に雛に影響すると云ふ事實は、或る他の學者の専門の研究によれば事實らしくもありません。其の研究と云ひますのは、雛が未だ殻の中でコツコツと殻を啄いたり又はさもく出して貰いたさうにピツピツと弱

々しい聲を張り上げる時、可成遠くからでも親の警戒の啼聲が聞えたと雛は忽ち鳴を静めて長い間黙つてゐます。或は少くも親鳥が聲の調子を變へることで危険の既に過ぎ去つたことを知らせる迄大人しく待つて居るといふことであります。

### 十、雀の呼び聲の研究

生來固有の歌と云ふもの、ない鳥に、どの位迄他の鳥の歌を仕込み得るか、又或る種の鳥の呼び事が、是と類を異にする鳥によつて、どの位迄模倣されるかと云ふことに關する實驗は、未だ餘り行はれてゐません。此處に御話をするコンラチ氏の研究と云ふのは、此の缺陷を補ふため、試みに金原雀の巢で英國産の雀を育て、見たのであります。何故に雀を選んだかと云ひますと、其の理由とする處は雀が非音樂的の鳥であると云ふ許りでなく、一體雀と云ふ鳥は非常に獨立の氣象に富んだ鳥であるからであります。今この人の精し

い研究を御紹介する前に、順序として雀に關する二三の記録を調べて見やうと思ひます。雀に歌ふことを教えた實驗の最も古いものは、今から丁度百四十年前に、デインス・パーリンググトンと云ふ人の試みた研究であります。氏の實驗は雛雀を毛羽の生え初めた頃に捕へ、之を紅雀に育てさせたのであります。處がふとしたことで金翅雀の聲を聞いたので、雛は其の歌をも覺えて、紅雀と金翅雀との兩方を混せた様な歌を歌ひ出しました。即ち雛は親とも師とも仰ぐ紅雀の歌を眞似はしますが同時に他の鳥の歌をも交へるので、其の歌には紅雀にあるやうな奇麗な氣持よい處が少しもありませんでした。又其の模倣の仕方が如何にも拙劣で恰も破落戸に歌劇を歌はせたかの觀があつたといふことであります。

次にウイッチェルの觀察を述べませう。野生の雀の雄が全身に日の光を浴びて、非常に氣持のよ

い時には、あの單調なチツ／＼といふ囀を繰り返して、自分では立派な歌でも歌つて居る氣で得意がつて居ることがあります。若し籠の中で雀を他の鳥に育てさせますと、雀は其の假親の歌を習得します。但し聲の調子丈は矢張雀の調子であります。要するに斯くの如くにして、非音樂的の雀も立派な歌手となるのであります。然し氏の觀察には一々實例が擧げてありません。且つ雀が他の鳥を模倣すると云ふ場合は數年の長い年月の間僅に一羽に過ぎなかつたと自白してゐます。其の時の雀は棕鳥の警戒の啼呼を眞似てゐたのであります。氏の弟のイー・エヌ・ウイッチェルは雀が鶉の警戒の啼呼と鶉の啼聲とを眞似て居るのを聞きました。又氏は雀の雄がチエオオラと歌ふのを聞いたと云つて珍しがつて、此の歌は雀が満足を感じた時に歌ふものであると云つてゐます。然し雀だとして未だ整はぬながら一種の歌を歌ふことは敢

て珍しくないので、に附記しておきます。  
 スターランドと云ふ人も雀が雲雀に歌を習つた例を報告して居ます。其の他英國産の雀が他の鳥の歌を真似ると云ふことに關する記述は、到る處

## 子供のつくりし謎

これは幼稚園兒童の自ら作つた謎々であります。下に記してある數字は即ちその子供の年齢を示してあるのです。

針の善物を着て、火の中に入れば大聲をだしてはれる者？

栗 ○ 男 六、八

形の見えないでさーくと吹く者？

風 ○ 男 六、〇

雪が降つても雨が降つても赤い者？

に散在して居ます。けれども是等の記述は孰れも新しい證明によるのではなく、前の實例に基いて觀察をしたに過ぎぬのであります。(つゝく)

坂本小學校附屬幼稚園 和田 くら

郵便函 ○ 女 六、七

いつもぼんやりして立つて居る者？

電信柱 ○ 女 六、四

焼てきつて食べる者？

海苔 ○ 男 六、一

朝早く起きてひかる者？

お日様 ○ 男 六、七

蓋あつて底のない者？

蚊帳 女六、三

朝早くから夜遅く迄働く者?

電車 男六、五

吸はれて擲かれる者?

煙管 女六、三

切つても切れない者?

水 女六、三

袋の中に入つて居て人に食べられる者?

辨當 男五、一一

持つとふるへる者?

蒟蒻 男六、四

仕舞て置けば細長くなり出せば大きくなる者?

掛圖 女六、一

掘れば掘る程大きくなる者?

穴 女六、三

白い壁の中に黄色いからだをなして居る者?

玉子 女六、七

晝役に立つ者?

障子 女六、五

夜役に立つ者?

戸 同

地面に二の字を書く者?

足駄

海の中に住み噴水を出して居る者?

鯨 男六、八

切られると白血を出す者?

豆腐 女六、八

晝でも夜でも働く者?

時計 男六、六

お金の無いのに買ふ〜と鳴く者?

鳥 女六、八

目の三つある者?

下駄 女六、六

晩に早く寝る者?

赤ン坊 男六、二

水の上に住む者?

船 男五、〇



進 め す ゝ め

へ調二拍子

3 5 5	3 5 5	3 5 5 5	6 2 2	2 4 4	2 4 4	4 3 2 1	7 6 5
ス ス メ	ス ス メ	サ ツ サ ト	ス ス メ ト	マ レ ト	マ レ	イ チ ド ニ	ト マ レ

1 1 1 1	1 1 1	2 2 2 2	2 2 2	3 5 5	3 5 5	6 6 5 5	3 . 2 1
オ テ テ テ	コ シ ニ	ウ サ ギ ノ	ヤ ウ ニ	ト ベ ヨ	ト ベ ヨ	ピ ャン ピ ャン	ト ベ ヨ

1 1 1 1	1 1 1 1	2 2 2 2	2 2 2 2	3 5 5	3 5 5	6 6 5 5	3 . 2 1
ホ ミ ミ チ	フ レ ヨ	ホ ミ ミ チ	フ レ ヨ	オ テ ラ	タ タ イ テ	カ ヘ ツ テ	ガ イ テ

第十九回京阪神聯合保育會提出遊嬉の歌曲

(京都市の部)

一、進め〜さつさとすいめ

とまれ〜一度に止まれ

お手を腰に宛のやうに

とべよ〜ピョン〜飛べよ

お耳をふれよお耳をふれよ

お手をたいて歸つておいで

二、進め〜さつさとすいめ

とまれ〜一度に止まれ

きれいな翅の蝶々のやうに

舞へよ〜ひら〜まへよ

皆手をとつてお花のやうに

ひらけ〜きれいに開け

一、進め〜さつさとすいめ

とまれ〜一度に止まれ

お手を腰に宛のやうに

とべよ〜ピョン〜飛べよ

お耳をふれよお耳をふれよ

お手をたいて歸つておいで

二、進め〜さつさとすいめ

とまれ〜一度に止まれ

きれいな翅の蝶々のやうに

舞へよ〜ひら〜まへよ

皆手をとつてお花のやうに

ひらけ〜きれいにひらけ

(全體一列行進右ニ行進)

(全體中心ニ向ヒ拍手)

(兩手ヲ左右ノ腰ニアテル)

(兩足ヲ揃ヘテ中心ニ向ツテ飛ブ)

(右ノ耳ヲ右ノ手先ニテ振ル左同様)

(拍手ナシツ、後方ニ退キツ、手招ク)

(前下同様)

(兩手ヲ開キ上下ニ振ル右ノ手ヲ上ニ)

(交叉シテ蝶形ヲナシテ振ル)

(蝶ノ形ニテ一回ス)

(中心ニ向ツテ進ム)

(兩手ヲ繋ギシ儘ニテ漸々後方ニ開ク)



# 兒童救急手當法

(承前)

醫學士 藤井 秀 旭

## 凍瘡

身體の内血の循環の悪い所例へば耳、鼻尖、指趾等は凍瘡に罹り易い。凍瘡といふのは第一度の凍傷を指すのであります。そして其病症の程度に三段があります。これを便宜上

### 第一度 輕 症

### 第二度 中 等

### 第三度 重 症

に分けて説明いたしますと、第一は皮膚の色が青みかゝつた赤い色になり、腫れて來て熱くなり、其上に癢痒が甚しく、又痛みが生じて來ます。

第二度は、鼻なり耳なりに水腫が出來、其の内容色は血の色になるのが多いのであります。

第三度は其の部分の感覺がなくなつて、血行が絶えてしまふのであります。血行が止つて身體の一部分の死ぬことを「壞死」と云つて居ります。其手當

凍傷の手當も、前に述べた凍返と同じように、急に温めると云ふことは可けないので、冷いところから、だん／＼と温くするようにしなければなりません。同様に、凍瘡に罹つた部分を火にあぶるといふことはよくない事でありませぬ。手などの部分なれば水の中へ入れ、耳や鼻のような部分なれば冷濯法を施すのであります。そして今度は手で摩擦をします。すると氣持のよい温みが出て參りますから、それまで摩擦します。そして次

に軟膏を塗るのです。軟膏にはいろいろの種類があり、ありますけれども、岡村博士の推賞する軟膏の種類を御紹介致しますと。

### 硼酸軟膏

イヒチオール軟膏

等で又單に有り合せの

ワゼリン

ラノリン

### 椿油

等を塗つて繃帯をするのであります。

其豫防

凍瘡を豫防するには、先づ身體を清潔にして、

末梢部の血行をよくすることであり、火に

たる場合にも、よく手の濕りけを拭き取つてから

火に近づくことを忘れてはならぬのであります。

耳や鼻の冷めなくなつたときには、だん／＼に温

めることは前にも申しした通りですが、疲勞したり

酷く空腹を感じたり、睡眠の足らぬ等の場合に嚴寒に觸れますと、よく凍死に陥るようなことがありますから、さういふ事のないように注意しなければなりません。

### 喝 病 (中暑病)

醫學上ではこれを(一)日射病、(二)熱射病の二種類に分けて居ります。此の區別は原因によつて生じたもので、即ち日射病は炎暑に照りつけられて起るもので、熱射病は熱の爲めに身體に變化が起るのであります。人間の身體は仕事をしたり、物を食べたりしますと、身體に熱が起つて來ます其の起つた熱を外部に發散せしめてしまふ作用が働いて居て其の調節の宜しきを得て居るのであります。然るに他の障礙の爲めに此の調節が出來なくなつて來ますと、即ち熱の發散が止つて、熱射病に罹るのであります。又、日射病は夏の炎天に體操をして居るような場合に多く生じ、熱射病は火

夫のような人によく起るものであります。然しこれは原因の區別でありまして、日射病と熱射病とは其の徴候に判然した區別が立たないので此の二つを合して腸病といふのであります。此の病症に罹つた者は、心臓が弱くなつて動悸がし、呼吸が苦しくなり、そして胸内苦悶なつて来ます。始め淋漓と出た汗の出が止まつて、顔が眞赤と云ふよりも、青みが、ツた赤色になつて、痙攣を起すか、又は卒倒いたします。そして昏睡の状態に陥つてしまふので、昏睡の状態が續けば續く程、其の恢復が困難なのであります。

此の場合第一に爲すべきことは着物をゆるめ空氣の流通よき場所へ出して、頭を高くして寝させるのであります。若し戶外なれば木蔭へ入れ室内なれば團扇であほいで成るべく風をあてる。頭は水で冷すか、若し氷を得られなければ冷水罨法を

施するのであります。そして足の裏を擦つたり、マッサージをしたりして、多少呼吸が強くなつて来た處で、人工呼吸を施し、氣がついた後に、水かお茶の濃いのを吞ますのであります。若し氣のつかない以前に水を吞ましますと、水が氣道の方へ入りますから、そんな事のないように、氣がついてから吞ますことを忘れてはなりません。又水を與へるにも、一度に多量の水を吞ませては可けないので、少しづつ、數度に吞ませなければなりません。若し灌注器がありましたならば、三〇〇瓦(一合五勺)程の水を灌腸するのが一番いので、この水の分量を誤らなければ灌腸は決して害にはならぬものですから、行ふ方がよいのであります。又、一端氣がついた患者は、動もすれば眠らう眠らうとするものでありますから、努めて眠らせないうように、アンモニヤを嗅がせ若しくは膀胱部に芥子泥を塗つて失神に陥るのを防ぐのが大切であ

ります。

### 其豫防

總ての場合に病氣に罹つてから手當をすること  
斗りが、醫者の仕事ではないので、さういふ病氣  
に罹らないように豫防するが、寧ろ大切なる務め  
なのであります。

喉病は日のかん／＼照つて居るよりも、曇り勝  
ちな蒸し暑ひ、息苦しいと云ふような日に却つて  
起るものなのであります。兵隊や火夫等が職務に  
起る喉病は極めて重症でありますけれども、子供  
の場合は比較的輕症なものであります。其の豫防  
としては、さういふ蒸し暑い日には成るべく外へ  
出さないようにすることは勿論、夜は早く寝かせ  
て十分の睡眠をとらしめること、食事を規則正し  
くすること、飲料水を成るべく吞ましめること、  
着物を固く締めないようにする等が其の主なる豫  
防法であります。

### 電 撃

これは電線が斷れて落ちたような場合に、これ  
に觸れた爲めに生ずることもあるし、雷の落ちた  
爲めにも起るものであります。多く其の場で死ぬ  
のが普通であります。幸にも助つた場合には重  
症なる脳震盪を起し、手足が冷くなつて顔の色が  
眞青になります。手當は困難であります。然し  
數日を経た後になつて助かることもある位です。か  
ら、出来るだけの手當はしなければなりません。  
其手當

風通しのよい所へ移し、着物をゆるめ、顔に冷  
水を灌注し、頭を低くし、身體を摩擦したり、礮  
砂精を嗅入させたりなどします。又食鹽の注腸を  
行ひます。即ち、水一〇〇〇(五合)に對して、食  
鹽九〇瓦(二匁)を混じたもので注腸をするので  
あります。この分量の食鹽を〇・九%食鹽水とも  
生理的食鹽水とも云つて居りますが、この分量の

食鹽水は人間の血と同じい働きをするものであります。これで氣がつくと、今度は Hoffman 氏液（アルコールとエーテルとを混じたもの）を與へ、人工呼吸を行ひ、又次に「やけど」の章で説明するとどうやうであつて、同様な手當を施すのであります。其豫防

此の豫防は云ふまでもなく、成るべく暴風の時に戸外に行かないようにせなければなりません。若し途中で暴風雨にあつた時には、一本立の木や電柱の例へ寄らないようにすること、落雷にあつた時には、直ぐ其儘に其の處へ寢てしまふのが一番よいのであります。室内なれば、ガラスが電氣を防ぐものでありますから硝子窓を總て鎖めてしまふことでもあります、と云つて餘り密閉し過ぎると、落雷したときに反つてよくないのであります、少し開けて置くようにした方がよろしいのであります。（未完）

## 夏の日 (二)

○夏といへば海を思ひますが、その海上の生活を職とせる海員の人々は、自然家が留守勝ちになる。そこで母親一人の教育がつい何彼と十二分で無いようのが起る。従つて海員の子弟に教育上不成績のものが生じ易い。之れは捨て置き難い問題であると心づいて、三年前から海國母の會といふを興して居る横濱の沼田松之助氏は、今回海員の家庭に讀ませようといふので『海員兒童の教育に就いて』（非賣品）と題する小冊子を刊行せられた。其冊子には教育界の名家十數氏の此問題に關する意見の談話が收めてある。中に本會の中川會長のお話もあつてその一節に「これは至極結構な思付であると思ふから、大に勉強して調査してお貰ひたい。海員の如く生産的の事業に従事して、兩家の發展、致富に大なる貢獻をして居るものゝ子弟が、他の子弟よりも出來が悪いといふなら、これを救済するは單に海員を自ら身丈けの問題ではなく社會の各人が眞面目に考慮すべき問題と思ふ」といふ意味のお話があります。斯くの如き重大なる關係ある特殊問題に就て盡力し研究せらるゝ沼田氏の篤志を多とし、兒童に關する萬般の注意及び研究が益々諸方面に行届かんことを希望に堪えないのであります

# 幼稚園參觀記

倉 橋 生

## ○羨ましい廣庭

### 成田幼稚園の遊園

羨ましいのは私立成田幼稚園の廣庭である。敷地叁千七十五坪その中から建坪の二百四十餘坪を除いた貳千八百叁拾餘坪は、日光豊かに風すがくしい眞乎自由の天地である。之れを幼児一人に割りあて、見れば、極く少く積つても一人で二十坪を占領して居る譯である。成田町の東南方向壘と稱する高地を占めて、殆んど四方が低い谷に割られた、自然の公園ともいふべき地形になつて居る地坪を測れば貳千八百叁拾坪であるが、塀がなく垣のない此の遊園は彼方の山、此方の野、目の届く限りの廣さである。風が自由に吹いて来る。鳥が自由に翔んで来る。幼兒の歌聲、笑聲が山に響いて反る他は騒がしい車馬の音は全く無い。脅しつける様な煉瓦塀や、穢らしい塀裏に眼を遮られて、窓の外は車馬往來の喧騒に、耳を聳いらるゝ都會の幼稚園から見れば、たゞもう羨ましい限りである。

二ツの花壇が二百餘坪、同じく二ツの築山が三百餘坪、それと二ツの砂場十六坪を除いては、皆一面の芝地である。而も其の中に芝を敷かない生地が處々にわざと残してあるのが最も嬉れし

い加ふるに築山の後、松林の奥などには、野生のまゝの雜草が茂るがまゝに茂らしてあるのも、至極うれしい。乾き切つた煉瓦敷や、反動のないアスファルトで敷きつめて、春くればとて草も出でず、秋くればとて落葉もない都會幼稚園が、たゞく情けなくなつて来る。

余が此の園を訪れたのは、其の地へ講演の歸途、夕刻の短い時間に過ぎなかつたから、幼児が如何に此の自然の天地を恣にして居るかば、其の實況を観ることが出来なかつた。然し、主任猪狩ゑい子氏に導かれて、園舎よりも先づ先きに、此の廣庭に案内せられたるときは、日頃ユートピアのように構いて居る遊園本位の幼稚園が忽然として幻に出て来たような心持がした。而して此自然の中に遊んで居る幼児等の、心身の健康を胸に美しく描かざるを得なかつた。また、この自然の中に幼児を自由に保育せらるゝ保姆諸君の喜びをも思はざるを得なかつた。地の利を俟つて人の利が完ふせらるゝは、何も兵法上の眞理のみではない。幼稚園教育にも最大の秘訣である。

所謂、成田山五事業の一としての此の幼稚園の誇りは保姆その人を得て居らるゝことにもあらう。設計上の注意のゆき届いた園



舎の建築にもあらう。しかもなほ之れに加へて、この廣い自然の庭を惜しげもなく幼児に與へられてあるを、心にくいほどに、其の誇りだと思ふ、而して余は歸途獨で考へた。あの廣い、土のやわらかい、草の多い、林の茂つた、日あたりのいい、幼稚園の遊園は成田の町に必要である如く、否、其の十倍も百倍も、東京に大阪に、京都に、其の他の都會に必要であると。

(尙、此の幼稚園は成田山新勝寺の石川貫首が、同山五事業(中學校、圖書館、高等女學校、幼稚園、感化院)の一として、明治三十八年に設立せられたものである。これは世に知れて居ることで、特記するまでもないが、特に幼稚園が其の五事業の一に加へられてあることを、吾人は愉快とするものである。)

## ○大きい砂池

### 双葉幼稚園の新砂場

長い計畫の砂場が出来たから、見に来て來れとの御案内であつた。四ツ谷見附を土手に添ふてまがると、カソリック風の大建築が先づ堂々として氣持がよい、双葉幼稚園きょうえんとは此の双葉女學校の中にあるのである。お邪魔をしては却つてと思つて、重いドアを獨りで開けて入ると、主任の後藤りん子氏は、數人の子供に取りかこまれて、大きい黒板一ぱいに、河馬の頭を書いて居られた余を迎へてちよいと、會釋せられて其のまゝ河馬を續けて居られる。元氣のいい、男の子や女の子が、呀え々々しい聲で、面白そうに立ち騒いで居る。余も御懇意づく、其の中にまぎつて拜見して居たが、向の方で太鼓の音がしたので、御免蒙つて其の處へ行

つて見ると、三四人の子供が樂隊ごっこをして居たところであつた。其の室の一方の隅を見ると、大きな篋ざるの中に大小いろ／＼の積木が一ぱい入れてある。積木は最もいい自由玩具である。子供の氣のむくにまかせて、三十でも五十でも、數を限らずに與へて並べすがよいといふ、後藤さんの豫れての御意見を思ひ出したそれから又、長さ三尺ばかりの木製の大きな電車があつた。子供を大きく大きく保育しようとする、後藤さんの御考へが、こゝにも現はれて居ると思つた。

呑氣な參觀人が、遠慮もなく一人で大抵全園を拜見し終つた頃である。遊戯室の壁の厚さを感心して見て居ると、今日は雨上りで、外で遊ばすことが出来ませんと云ひながら、後藤さんが來られた。そうして乞ふがまいに、直ぐ砂場を見せて下さつた。(參觀者の爲に折角子供の喜んで居る繪を中止したり。特に時間外の特別保育をして見せたり、そういふ不自然な素人扱ひの待遇振りをして下さらなかつたことを、余は何よりも先づ心から嬉しく思つた。そして後藤さんに謝した)

成る程大きな砂場である。幅が一間半、總坪が七坪以上もあらう。其の廣い中へ、砂が十分に入れてある。試みに手をついて見ると、心持ちよい程やわらかひ。其の筈である、砂の深さは三尺もあるといふ事である。兩側に添ふて、幅一尺ばかりの長い臺が高さ三尺程に作りつけてある。後藤さんの御話によると、これは校長女史(佛蘭西から來て居られる)の考案の由であるが、至極いと思ひつきと思ふ。即ち幼児は此の砂の池單に砂を弄ばすばかり

でなく、中へ入つて遊ばすのも一目的であるから、砂の池といふ方がいゝといふ後藤さんの御考(へである)の中へ入つて、いろ／＼の金皿や、箱で砂をすくつては、此の臺の上で遊ぶのである。然し御話によると、子供は此の臺の上で砂を弄ぶと共に、砂の中に座つたり、或は寝たりすることを、大層喜ぶといふことである。余は此の説を聞きながら、繪で見た倫敦の某公園の砂の廣場や、ニユーヨークのセント、ガブリエル公園とかにある砂遊び堂のことに思ひ浮べた、そうして日頃主張して居る大砂場の實現を喜びに堪えなかつたのである。

砂池を高く覆(おほ)ふて居る藤棚の上に、薄日(うすび)がさして來た。上着を脱いでシャツと半ズボンの活潑な男の子が駈けて來て、先生もう外で遊んでいいでせうと、外遊のゆるしを願ひに來た。先生がこれを許されると、今迄遊戯室で輪飛びなどをして居た子供達(こどもたち)がさも嬉(うれ)しそうに皆外へ出た。そうして砂池の遊びが直ぐに始まつた。お暇(いとま)をするに臨んで、參觀者の義務として、何か所感を聞かせよとのことであつたから、余は直ぐお答へした。子供さん達が皆著しく血色がよくて、目が活(き)々として居るのを何よりも直ぐ氣附きましたと。

▲寝せつけし子の洗濯や夏の月 (一茶)  
▲母親やすらみがてらの針仕事 (同)

### 本誌定價

一冊 郵税共金拾壹錢 六冊前金郵税共六拾錢  
拾二冊同金壹圓貳拾錢 郵券代用 一割増

### 購讀申込

本誌購讀御希望の方は右定價表により振替貯金にて御拂ひ込み下さい。直に御送本致します。(振替口座東京一七二六六番)

### 本會宛御用務

本會宛諸般の御用務は左の如く願ひます

(庶務上保姆紹介に關する件をも含む)の御手紙は  
東京市小石川區久堅町七十四番地フレイベル會事務所宛

會計事務は東京女子高等師範學校附屬幼稚園内、  
雨森劍宛

本誌編輯の御用務(寄稿、廣告等)は東京府下千駄  
谷八七八倉橋惣三宛

大正元年八月二日印刷  
大正元年八月五日發行

編輯兼發行者 倉橋惣三  
東京市本所區番場町四番地

印刷者 平井登  
東京市本所區番場町四番地

印刷所 凸版印刷株式會社本所分工場  
東京市小石川區久堅町七十四番地

發行所 フレイベル會